

窒息事故に注意して季節の行事を 楽しみましょう

消費生活

ストップ!
ザ・悪徳商法



通信

令和5年1月
vol.147

役場町民課

消費生活センター

☎27-1958 (直通)

※来所の際は事前にお電話頂けると確実です

もち



消費者庁の分析(2018年～2019年)によると…

- もちによる窒息死亡事故の43%が1月に発生している。
- 特に正月三が日は事故が多い。
- 男性の死亡者数は女性より2.6倍多い。

もちを食べる時の注意点

- もし丸呑みしたとしてもものどに詰まらない大きさに切りましょう。
- お茶や汁物で、のどをうるおしてから食べましょう。
- 背筋を伸ばし、ゆっくりとよく嚙んでから飲み込むようにしましょう。
- もちは温度が下がるにしたがって硬さ・くっつきやすさが増す性質があります。アツアツのお椀の中ではやわらかそうに見えても、食べている間に口の中の温度によって状態が変化することに注意しましょう。

節分豆



幼児が硬い豆やナッツ類を食べると、こんな危険があります

- かみ砕く力・飲み込む力が弱く、喉や気管に詰まらせる。(窒息)
- 小さなかけらが気管に入り込んで、肺炎や気管支炎を起こす。(誤嚥)
- 笑ったり泣いた拍子に不意に吸い込み、窒息・誤嚥してしまうことも。
- 特に節分豆は乾燥していて軽いため、息を吸った拍子にのどに落ちたり、詰まってしまう危険がある。

5歳以下の子どもには、豆類・ナッツ類を食べさせないでください
(ピーナッツ・煎り豆・枝豆・アーモンドなど)

子どもと安全に節分を楽しむために

- 豆まきは個包装されたものを使用するなど工夫して行い、5歳以下の子どもが拾って口に入れないように、後片付けを徹底しましょう。
- 鬼や恵方巻に見立てたメニューなど、豆を使わない楽しみ方もあります。



気道異物の除去方法も確認しておきましょう



背部叩打法



腹部突き上げ法

オレオレ詐欺 多発中

家族で話し合い、複数の対策を!

- ✓ お互いの近況を伝え合う
- ✓ 合い言葉を決める
- ✓ 緊急連絡先、相談先を確認し、すぐわかる場所に貼っておく
- ✓ 防犯機能付き電話機に替える